

第 111 回まち歩き 都心駅壁画巡礼

日経新聞 6 月朝刊文化欄で紹介された地下鉄駅コンコースの壁画をヒントに企画されました。新宿駅から日本橋まで主に地下鉄を乗り継いでのまち歩きです。16 時 30 分～19 時は忘年会です。

日時 2025 年 12 月 20 日(土)13 時～19 時

集合時間：13 時

集合場所：新宿駅西口交番前

参加者：15 名（内 4 名途中から参加）

案内人：柴田（017D）・荻原（018A）

忘年会場所：日本橋「湊一や」

忘年会参加者：16 名

歩いた歩数：6,200 歩

〈まち歩き〉

◆まち歩き行程

新宿駅→原宿駅→明治神宮前→渋谷→ハチ公前→渋谷マークシティ→三越前→日本橋

○ スタート

新宿駅西口は大工事中☆仮囲いで見通しが利かず、何人かは迷子状態で全員揃ったのは 13 時 20 分頃でした。この状態いつまで続くの？後 5 年位か？などと話しながらまち歩きが始まりました。

☆「新宿駅西口地区開発計画」

- ・旧小田急百貨店跡地/地上 48 階 260m 超高層ビルを含む複合施設、2029 年完成予定
- ・駅前広場改良工事/東西口通り抜け化など東京都庁施行工事で 2026 年 12 月下旬まで
- ・JR 東日本他駅全体の改良工事

2046 年度事業完了予定の超長期計画

① 『新宿の目 by 宮下芳子』

都庁へ向かう大地下道右側通路の入口付近

最初のパブリックアートは、新宿での待合せポイントで有名な「新宿の目」です。

- ・制作年：1969 年/新宿スバルビル完成時
- ・素材：アクリル樹脂
- ・サイズ：高さ 3.4m 幅 10m
- ・製作意図：「世の中の移り変わりを見つめる目」
- ・今後の展望：スバルビルが解体されて現在は電源が断たれ瞳の回転や点灯は無くなっている。小田急電鉄は「新宿の目は貴重な文化遺産で保存する方針」と明言している。但し、現在の位置で残すのかは不明である。



「新宿の目」で記念撮影

JR 新宿駅から JR 原宿駅へ向かいました。



原宿駅はモダンな新駅ビルになっています。副都心線明治神宮前までの表参道は土曜日のせいもあって人人人の大混雑でした。

☆「原宿駅新駅舎」：2020 年 3 月開業
(株)JR 東日本建築設計 鉄建建設(株)施工

② 『いつかは会える by 野見山暁治』

『希望 by 武田双雲』

東京メトロ副都心線明治神宮前駅改札内へエスカレーターで地下4階まで降ります。



『いつかは会える』前で記念撮影

- ・制作年：2008年/副都心線開業時
- ・素材：スタンドグラス
- ・サイズ：高さ2.6m 幅10m
- ・製作意図：通路と言う場所を持つ「人が通り過ぎる瞬間」を意識し野見山氏が87歳で初めて手掛けたスタンドグラス作品である。



『希望』前で記念撮影

- ・制作年：2008年/副都心線開業時
- ・素材：陶板レリーフ
- ・サイズ：高さ2.6m 幅8.5m
- ・製作意図：世界に未来に向けた『希望』中央に大きく書かれた「希望」の文字の周囲には世界中の言語（英語・仏語・中国語・

アラビア語など)で「希望」を意味する言葉が刻まれており“隠れた文字探し”となっています。

副都心線で渋谷駅へ向かいました。



渋谷駅の地下に浮かぶ「地宙船」

東急東横線と東京メトロ副都心線の地下（B5～B1）に設計された巨大な卵形の構造物（吹抜け空間）で、安藤忠雄設計・鹿島東急大成JV施工で、卵殻の構造体はGRCです。電車走行による風圧利用の自然換気のエコ空調空間です。

渋谷駅は複雑で“案内板”頼りで「ハチ公前」にたどり着きました。ここで途中参加の1名と合流です。ハチ公前も人の群れ、写真撮影のため大勢が並んでいます。



写真撮影の人が交代する瞬間を狙って、「ハチ公」を撮ることが出来ました。

なんとここでNHKが街角インタビューをしていました。“今年のスポーツ界で一番気になったニュースは？”と言うもので、我々メンバーも結構面白がって取材に応じていました。大谷選手が圧倒的で安青錦関も多く長嶋さんも上がっていました



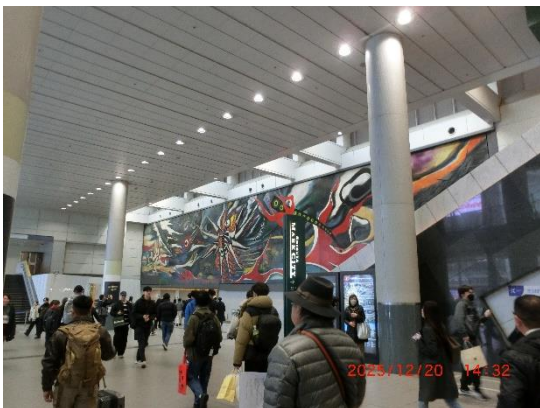
そしてこの取材が、12/23のNHKニュースウォッチ9で025D山口氏の登場で放映されました。

まち歩き史上初の珍事でした。

地上を歩いて「マークシティ」へ、街の飾り付けはもうクリスマスです。

③ 『明日の神話 by 岡本太郎』

京王井の頭線渋谷駅と JR 渋谷駅を結ぶ連絡通路にある巨大壁画で、「岡本太郎の最大にして最高の傑作」と言われています。



- ・制作年：1968～9年/大阪万博と同時期
- ・素材：アスベスト板に一部コンクリートを盛り付けてアクリル系塗料で描く
- ・サイズ：高さ 5.5m 幅 30m 重さ 14 t

・製作意図：「原爆が爆発し世界は混乱するが、人間はその災いと運命を乗り越え、未来を切り開いて行く…と言った気持ちを表現」
☆「明日の神話」は数奇な運命を辿った。

大阪万博のシンボルタワー「太陽の塔」と対をなす岡本太郎の代表作で、1968年から翌年に掛けて メキシコシティで制作された。メキシコシティで建設中のホテル

「Hotel de Mexico」のロビーに置かれるはずであったが、ホテルは予定通り完成せず 1970年にはホテルは倒産した。当該建物は“世界貿易センター”として開業し1990年までは建物の中に「明日の神話」壁画があったと言う。壁画はその後置き場を転々として行方不明となった。岡本太郎の秘書で養女の岡本敏子は長らく壁画の行方を捜し続けていて、2003年にメキシコの屋根のない資材置き場で発見した。ひびが入り欠損もあり劣化も進んでいた。

2004年岡本太郎記念現代芸術振興財団などが再生プロジェクトを立ちげ、壁画を100個以上に分割し日本に船で輸送し、2005年7月から2006年6月まで修復作業が行われた。日本テレビや東京都現代美術館で特別公開された後、永久保存するための地に渋谷マークシティ連絡通路が選定された。2008年10月に壁画設置作業が完了し11月7日に除幕式が開催され、一般公開される運びとなった。「明日の神話」は核兵器に焼かれる人間を描いており、「焼かれる骸骨は口を大きく開けて笑っており人間の誇りとしての怒りを爆発させている」。右に第五福丸、左に平安な世界で憩う人々が描かれている。



『明日の神話』の前で記念撮影

東京メトロ銀座線に乗り三越前へ
15時20分着。途中参加者3名と合流。

④ 『熙代勝覧絵巻』(きだいしょうらん)

三越前駅の地下コンコースにある壁画は、江戸時代の日本橋の賑わいを描いた絵巻物で、ここにあるのは“複製”です。

「熙代勝覧」とは「熙(かがや)ける」「代(みよ)」の「勝(すぐ)れたる」「覧(ながめ)」のことで、『輝かしく平和な江戸時代の素晴らしい景観を一覧する』意味となります。この絵巻物は長年行方不明でしたが、1999年にドイツのベルリン国立アジア美術館の収蔵庫で偶然発見され、2009年11月に、ここに複製が設置されました。2009年は日本橋の街を活性化させる「日本橋地域ルネッサンス100年計画」が進んでいた時期で、三井不動産(株)・名橋「日本橋」保存会・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会の3者が事業者となり複製・設置されました。この事業には多くの組織・企業が役割分担しましたが、技術的には日本橋の老舗である「小津和紙」が複製画制作に協力しており、和紙に高精細なプリントを施すこだわりの技術が使われています。この絵巻物は歴史的に非常に貴重な情報が描かれていますが、登場人物1,671人・犬20匹・馬13頭・店舗88軒と言う驚異の情報量で、江戸時代にタイムスリップしたかの様楽しめます。



- ・制作年：文化2年(1805年)頃
- ・サイズ：高さ43.7cm 長さ12m

・女性は僅か20人程

当時の日本橋は問屋街(ビジネス街)だったため、表通りを歩いているのは殆どが仕事上の男性だったという当時の社会構造を反映しています。



雛人形の露店前なので女性が5人描かれています

・犬たちの「自由過ぎる」日常



犬は全て放し飼い、猿回しの猿に吠えています

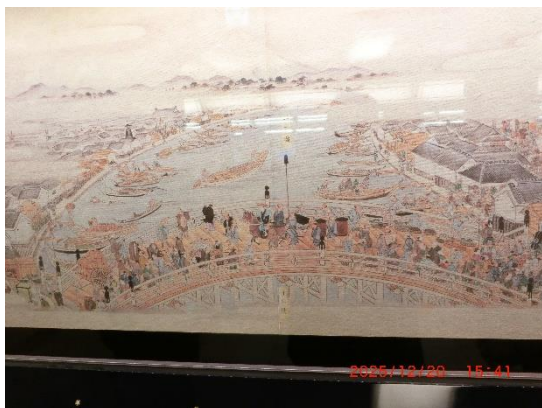
・三越(越後屋)の「画期的な商法」



越後屋の立看板「御服物品々 現銀・無掛値」

「現銀・無掛値」とは「現金安売り掛け値なし」と言う意味で、当時一般的だったツケ払いではなく、「現金払いなら安くする」と言う越後屋ならではの商売を始め、大成功しました。

・日本橋の賑わい



馬上の侍と槍持ちから大八車を曳く町人まで大賑わいの「日本橋」 遠くに富士山が見える

・リサイクル都市「江戸」

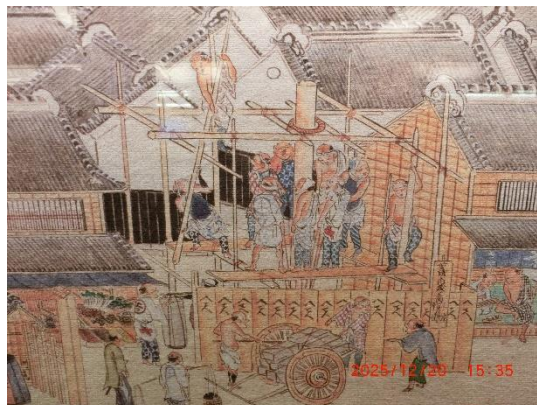


「反故紙買い」不要になった帳面・手紙・瓦版・読本を買い取り、漉き返して「再生紙」へ

・火事と喧嘩は江戸の華



・町屋の普請（建築工事）…地形と木遣



「地形（ちぎょう）」中央で太い丸太を大勢で引いては落とす地固め作業、「木遣」作業の調子付けと氣勢を上げるための作業歌

・駕籠かき…江戸のタクシー



・金山寺味噌売り（舐め味噌売り）



売り声は「醬（ひしお）は金山寺、醤油のろみ、菜漬・奈良漬・南蛮漬、なづけはようござい」ここにも放し飼いの犬、女性も二人います。

ここでは 30 分程の時間をかけてじっくりと見て楽しみました。



「熙代勝覧絵巻」前で記念撮影

15 時 50 分、再び銀座線に乗って「日本橋」へ戻りました。

⑤ 『日本橋南詰盛況乃圖 by 山口晃』

日本橋駅 B1 出口付近の日本橋高島屋の近くにあります。



- ・制作年：2021 年
- ・素材：ステンドグラス (LED 内蔵)
- ・サイズ：高さ 2.1m 幅 6.0m
- ・製作意図：「日本橋の歴史を一望する」江戸時代から現代、さらには未来までが一つの画面に混在しています。4次元の絵画です。

絵の中に今これを見ている自分が立っている場所を示す「You are here」と言う文字が書き込まれていたり、現代のサラリーマンが江戸の風景に紛れ込んでいたり、ユーモアあふれる看板があったりと、何度見ても新たな発見がある面白い作品です。まさに「山口晃ワールド」です。



「日本橋南詰盛況乃圖」前で記念撮影

ここで忘年会までの時間調整を兼ねて、案内人の 018A 荻原から「地下鉄銀座線」を主とした話がありました。【別添資料参照】

- ・銀座線は第一京浜をそのまま南下せず、何故新橋で 90 度曲がって渋谷に向かったのか？
- ・「地下鉄の父」早川徳次とはどんな人か？
- ・東京の地下鉄 13 路線と JR や私鉄との乗入れがどの様に制約されているのか？ 等々

〈忘年会〉

16 時 20 分、忘年会会場へ向かいます。B3 出口は丸善に直結しています。丸善の中のエスカレーターで地上に出て、「日本橋さくら通り」を東京駅に向かって 1 ブロック先の右側のビルの 2 階「湊一や」日本橋八重洲店です。

外はもう“イルミネーション”クリスマスです。忘年会参加の 1 名が加わって、総勢 16 名での忘年会となりました。



忘年会会場を早く予約したことと開始時間が16時半からと早かったことから、外が見えるいい部屋が取れて、料理も飲み放題もグレードアップされ、とてもいい忘年会でした。



19時まで2時間半、お疲れ様でした。

帰りはすっかり夜、ちょっぴり小雨模様でイルミネーションが綺麗でした。



その後、有志で2次会の「カラオケ」に、プロの富樫さんの歌も聴けてとても楽しかったです。 文責：018A 荻原



2025年12月20日 第111回まち歩き 「都心駅壁画巡礼」 日本橋南詰盛況乃圖にて

1. 東京の地下鉄 13 路線一覧

| 順番 | 開業年 | | 路線名 | | 起点 | 終点 | 線路幅 | 乗入れ |
|----|------|-------|-----|------|-------|------|-----|---------|
| 1 | 1927 | 昭和 2 | メトロ | 銀座線 | 渋谷 | 浅草 | 標準軌 | — |
| 2 | 1954 | 昭和 29 | メトロ | 丸ノ内線 | 荻窪 | 池袋 | 標準機 | — |
| 3 | 1960 | 昭和 35 | 都営 | 浅草線 | 西馬込 | 押上 | 標準軌 | 京急・京成 |
| 4 | 1961 | 昭和 36 | メトロ | 日比谷線 | 中目黒 | 北千住 | 狭軌 | 東武 |
| 5 | 1964 | 昭和 39 | メトロ | 東西線 | 中野 | 西船橋 | 狭軌 | JR・東葉高速 |
| 6 | 1968 | 昭和 43 | 都営 | 三田線 | 目黒 | 西高島平 | 狭軌 | 東急 |
| 7 | 1969 | 昭和 44 | メトロ | 千代田線 | 代々木上原 | 北綾瀬 | 狭軌 | JR・小田急 |
| 8 | 1974 | 昭和 49 | メトロ | 有楽町線 | 和光市 | 新木場 | 狭軌 | 東武・西武 |
| 9 | 1978 | 昭和 53 | メトロ | 半蔵門線 | 渋谷 | 押上 | 狭軌 | 東急・東武 |
| 10 | 1978 | 昭和 53 | 都営 | 新宿線 | 新宿 | 本八幡 | 馬車軌 | 京王 |
| 11 | 1991 | 平成 3 | メトロ | 南北線 | 目黒 | 赤羽岩淵 | 狭軌 | 埼玉高速・東急 |
| 12 | 1991 | 平成 3 | 都営 | 大江戸線 | 光が丘 | 都庁前 | 標準機 | — |
| 13 | 2008 | 平成 20 | メトロ | 副都心線 | 渋谷 | 和光市 | 狭軌 | 東急・東武西武 |

銀座線・丸の内線は標準軌かつ“第三軌条方式”のため他路線と乗入れ出来ない。

大江戸線は標準軌かつ“リニア推進式”のため他路線と乗入れ出来ない。

銀座線は赤坂見附駅付近で丸の内線に乗入れている。非営業路線→中野車両基地へ

大江戸線も汐留駅付近で浅草線に乗入れている。非営業路線/特殊車両で牽引→馬込車両検査所へ

◆線路幅

①広軌 インド軌：1,676 mm、スペイン軌：1,668 mm、ロシア軌：1,520 mm、

②**標準軌 = 1,435 mm** ヨーロッパほぼ全域・アメリカほぼ全域・中国ほぼ全域

日本は、JR 新幹線各線、私鉄西日本ほぼ全域（阪急・阪神・近鉄 etc）、大阪メトロ etc

東京は、京成・京急及び都営地下鉄浅草線、地下鉄銀座線・丸の内線・大江戸線

③**馬車軌 = 1,372 mm** 馬車鉄道車輪幅由来(スコッチゲージ) 京王線及び地下鉄新宿線、

京王線は元々路面電車（東京市電⇒東急世田谷線）への乗入れを計画していた。

路面電車は都電（現存：荒川線）のみならず函館・広島・長崎 etc と全国的に馬車軌

④狭軌 = 1,067 mm JR 在来線、私鉄東日本ほぼ全域（東武・西武・東急・小田急 etc）

◆都営大江戸線の“リニアモーター駆動方式”とは、

レール間の中央・枕木の上に「リアクションプレート」と呼ばれる金属板（電気抵抗の小さい銅板と磁気の通り道となる鉄板を貼り合わせた構造）が带状に敷設されている。上部が木製の板でカバーされているため見た目には金属板とは見えない。車両側に搭載されたモーターのコイルに電流を流すことで発生する磁力（磁界）とリアクションプレートに誘導される磁力の間で吸引力と反発力が交互に働き**推進力**が生まれる。

2. 地下鉄銀座線

日本の地下鉄として最初に開業した路線であり、複数の区間に分けて建設された。

★東京地下鉄道(株) 早川徳次(のりつぐ) 創業(シャープ創業者の早川徳次とは同姓同名の別人)

①最初の開業区間：浅草～上野 1927年(昭和2年)12月30日開業

東洋初の地下鉄2.2kmの施工は、大倉土木(現：大成建設)、上野駅の施工も。

この時、大倉土木は工事費を後払いで受注し、早川の創業を支援した。

②上野～新橋間延伸：浅草⇄新橋 1934年(昭和9年)6月21日開業

施工：上野～万世橋(大林)～神田(清水)～日本橋(大倉)～京橋(間)～新橋(大倉)

早川徳次によるキャンペーンソング(都々逸)

『逢って浅草、別れて上野、またの逢瀬は新橋で』

★東京高速鉄道(株) 門野重九郎設立・五島慶太常務取締役

“高速”とは地上を走る路面電車やバスよりも速いところから名付けられたもの

③新橋～渋谷 1939年(昭和14年)1月15日開業 主な施工会社は、鹿島組。

④五島慶太の働き掛けで、浅草～渋谷「相互乗り入れ」同年9月16日直通運転開始

この様に東京地下鉄道と東京高速鉄道の2社によって段階的に建設され、

最終的に相互直通運転が開始されることで現在の路線が形成された。

※1941年(昭和16年)〈太平洋戦争開戦〉両社が統合されて「帝都高速度交通営団」

“営団地下鉄”が国策により設立された。翌年、早坂徳次死す、61歳。

戦後 1953年(昭和28年)浅草～渋谷間の路線名が正式に『銀座線』と命名された。

2004年(平成16年)営団地下鉄民営化⇒東京地下鉄(株)〈愛称：東京メトロ〉

○早川徳次(のりつぐ) 1881年(明治14年)～1942年(昭和17年)

『日本の地下鉄の父』 山梨県生れ、早稲田大学卒、南満州鉄道から鉄道院へ

・1914年(大正3年)…ヨーロッパ視察 ロンドンの地下鉄に感動

・1920年(大正9年)…東京地下鉄道(株)設立：39歳

×1923年(大正12年)…関東大震災

・1925年(大正14年)9月27日～1927年(昭和2年)12月30日…浅草～上野間施工

・1939年(昭和14年)…東京高速鉄道との乗入れによる経営権を巡る(五島慶太との)

争いで、地下鉄事業から退く。58歳、1942年(昭和18年)死去、61歳

◎銀座数寄屋橋から銀座四丁目への地下通路のほぼ中間(B7.B8出口付近)に朝倉文夫制作の早川徳次の『胸像』がある。

○門野重九郎 1867年三重県生れ、慶應義塾・帝国大学工科卒、ペンシルベニア鉄道→大倉組ロンドン支店長→1934年(昭和9年)東京高速鉄道(株)設立：67歳

○五島慶太 1882年(明治15年)～1959年(昭和34年)長野県生れ 東京帝国大学卒 農商務省→鉄道院→1944年(昭和19年)東条英機内閣運輸通信大臣→戦後公職追放

・1920年武蔵電気鉄道(株)常務・1922年目黒蒲田電鉄(株)専務・1939年両社合併社長

・1942年小田急電鉄、京浜電鉄を傘下に収め「東京急行電鉄」と改称、東急グループ構築